

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		高岡市きずな子ども発達支援センター（センター事業）		公表日		令和8年 3月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・職員間で毎日、活動の内容や場所、活動する時間帯の確認を行い、プレイルームや保育室、園庭などに分散して人数調整をすることで、子どもたちがゆったりとしたスペースで、安全に活動したり遊んだりできるよう工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	・職員の配置数は、国の配置基準を満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	・入り口、玄関から施設内にかけてバリアフリーとなっており、エレベーターも設置されているなど、利用される方の障害特性に合わせた環境になっている。 ・保育室では、一人一人の体格や特性に合わせた個人の椅子を使用している。必要に応じてパーテーション等を活用して空間を区切るなどお子様の特性に合わせた対応を行っている。 ・視覚支援ツール（写真やイラストを用いたカード、スケジュールボードなど）が準備されており、遊びや活動の流れが、一人一人に分かりやすく、構造化されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・生活空間は、清潔な環境で安心して過ごせるように毎日清拭をしている。 ・各クラスにプレイルームが隣接しており静的活動から動的活動への切り替えがしやすい点。 ・朝礼やクラスごとの朝ミーティング時に、保育室やプレイルームの遊具、環境の設定について職員間で意見交換を行い、子どもたちの状況に合わせた設定の工夫を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	・静養室が隣接しており、病児の対応だけでなく、クールダウンの場として、必要に応じて利用できる。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0	・毎日15:45～16:00の15分間、各クラスでその日の療育を振り返る時間を設けて、改善点については翌日の療育に反映させている。 ・週1回、関係職員でバスの運行の振り返りを行い、バス内の環境やお子様の座席について検討し、改善を図っている。 ・行事実施後に反省会を行うとともに、保護者の皆様に事後アンケートを行い意見集約した上で、次年度の行事開催に向けた改善を行っている。	・職員が主体的に討議の場に参加し、PDCA サイクルを繰り返す中で改善を図り、質の高い療育が提供できるよう努めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・保護者の皆様からのご意見について職員間で共有し、改善すべき点について話し合い、業務に反映させている。 ・行事の後は、保護者の皆様に感想や意見をいただき、日々の療育や以後の行事に活かしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・毎年実施している行事でも、事前に職員間でどのようなねらいで実施していくのか共通理解を図り、その年の年齢分布や子どもたちの発達状況に合わせた形で行事が実施できるよう意見交換をした上で実施している。 ・定期的に職員の面談を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	0	・今年度より、保護者代表（保護者会長）高岡市社会福祉課職員立会いのもと、事業所評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	・毎年外部評価を実施することにより、評価結果を業務改善につなげていく。	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・育成科研修はとても有意義で参考になる事が多い。 ・職員間で連携を図りながら施設運営しているため、平日に実施される研修でも受講しやすい点が良いと感じる。 ・毎月研修日を設け、ケース検討や災害、事故に関する研修など実施し、職員としての資質向上を図っている。	・職員のさらなる資質向上のため、職員の意見も踏まえ、次年度の研修内容の検討を行っていく。 ・職場内以外の外部研修の開催について引き続き全職員に周知して参加を促していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	・センターのホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・自分1人で考えず、他職員とも意見を交わし子どもや保護者に伝えるようにしている。 ・個別懇談で保護者ニーズ、家庭状況の把握、お子さんの発達状況、成長した点を共有し、課題を抽出した上で、個別支援計画に反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・より細やかな支援計画作成のため、児発管、保育士だけでなく、PT、OT、ST等各分野の職員で、個々の子どもの姿や情報が共有されている点が工夫されていると感じる。 ・計画を作成する上で、支援者とも支援目標について検討、共有を行い、その後の支援に反映できるよう工夫している。 ・保護者の思いと、子どもの支援に関わる職員の思いをすり合わせた上で計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・個別支援計画の支援目標にそって段階を踏んで毎月のねらいを設定し、目標達成に向けた支援を進められるよう工夫している。 ・職員間で計画を共有し、一人一人の目標を把握した上で支援をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	・発達チェック表や日常の保育記録をもとにこどもたちの発達状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	・児童発達支援ガイドラインに基づいた内容で計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・通園部門合同で毎日の活動を検討し、内容を決めている。また、各クラスでお子様の実態に応じた内容を検討し工夫している。 ・毎日、活動の設定について話し合う機会を持ち、季節や子どもたちの状況に合わせたものが取り入れられるよう工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	・職員が多いので、様々な部署で意見交換を行い、活動内容が固定化しないように努めている。 ・クラス担任間で1日の生活や活動を振り返りクラス全体の運営や個別の関わりについて検討、改善を行っている。。 ・クラス担任間で話し合い、こどもの様子や興味、経験させたいことなどを考慮し日々の活動検討を行っている。 ・職員で話し合い、お子様の実態や季節ならではの体験などを踏まえ、向こう1～2か月間の活動内容を決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	・お子様の状況、保護者の意向を踏まえて、支援の方針や到達目標を設定し、関わりの方角性を統一した上で、支援をすすめている。 ・活動は、内容や子どもたちの発達段階に合わせて、クラス単位やクラス内でも小集団、個別での指導を行っている。	・個別支援計画に沿って療育を進める中で、毎回お子様たちの支援を振り返り、改善点を翌日に反映することを繰り返し、子どもたちに合った支援の提供に引き続き努めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・毎日の活動内容をクラス担任間で検討し、支援内容や役割分担について事前に打ち合わせを行って連携した支援をすすめている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	15	0	・支援終了後、担任間で活動に対するお子様の反応やそれに対する保育士の支援内容は適切であったかを振り返り、気づいた点を共有している。 ・支援を進める中で気づいたことは、職員間で共有し、支援の質を向上していけるよう努めている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	・クラス日誌や個別記録を記入し、支援の検証を行い、改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・保護者との懇談、半年ごとに計画の評価を行い、子どもたちの成長の確認とニーズと課題を抽出した上で内容を検討して、一人一人に合った計画が作成ができるよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	・児童発達支援管理責任者や担当職員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	・必要に応じて関係機関と連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・必要に応じて、地域園との交流機会を持つなどスムーズな移行に向けて対応を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・入学前に、関係機関との連絡会を行い、子どもたちがスムーズに就学先に移行できるよう情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	15	0	・県内の児童発達センター職員が集まり、定期的に研修の機会を持っている。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・県、市町村、一般団体主体の対面またはオンライン研修開催について周知し、職員の主体的な研修参加を促している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	・発達支援室職員が高岡市地域共生推進協議会に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15	0	・希望者を対象に、市内公立保育園2園と、定期的に交流の機会を持っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・連絡帳で日頃のセンターの様子や家庭での様子を保護者と共有し、必要に応じて電話懇談を行っている。また、定期的に個別懇談を行い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を図っている。 ・連絡帳や電話でのやり取りだけでなく、必要に応じて懇談の場を設ける等、保護者と密に話し合いができる場が設けられる点が工夫されている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	・年間3クール（1クール6回講義）グループペアレントトレーニングを開催し、保護者の方へ情報提供を行い参加を募っている。 ・毎年2月に年中児保護者を対象に就学講演会を開催し、就学に向けた情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・運営規定、利用者負担、支援プログラムについては、契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・児童発達支援管理責任者や担当者が、個別懇談を通してアセスメントを行い、優先すべき課題について、こどもや家庭の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0	・児童発達支援管理責任者が、支援内容の説明を行い、保護者の同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・定期的に個別懇談の機会を設けている。また、それ以外にも必要に応じて随時懇談会や電話懇談など行い、保護者の相談や悩みに迅速に対応できるよう工夫している。 ・電話懇談や個別懇談を実施する中で、保護者の悩みや不安を聞き取り、そこから見えてくる課題を分析し、具体的な支援方法について一緒に考え、実践につなげている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0	・ふれあい学級の際は、兄弟にも参加を募り、兄弟児交流の機会を持っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・保護者やこどもたちの状況から、必要性を感じた場合は、保護者からの申し出がなくても電話懇談や保護者懇談の場を設け、迅速な対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・月に1回クラスだよりや給食だより、その他行事や日頃の活動の様子などをメール配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・個人情報の取り扱いには十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・保護者の中には外国籍の方もいらっしゃるため、案内文を発行した際は、内容について電話や対面で補足している。 - また、連絡ノートも、簡潔で分かりやすい文章や、ひらがなの使用など配慮している。 ・簡潔で分かりやすい言葉で伝えたり、実物や写真、イラスト、文字などのツールを活用したりして、お子さんたちに伝わりやすい方法での情報伝達に配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	0	・ライオンズクラブとの交流を年2回行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	・各種マニュアルを策定して周知するとともに、様々な想定での訓練を子どもたちと実施している。また、職員で対応シミュレーションも実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・業務継続計画を策定し、水害、地震を想定した避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・持病の把握に加え、発作が起きた場合を想定したシミュレーションを行っている。その際、てんかんの状態ごとに合わせた対応ができるよう、フローチャートを作成し活用している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・主治医記載の生活管理表をもとに、保育士、看護師、調理員でアレルギー対応の内容確認を行い、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	・安全計画を策定し、安全管理が十分された中で支援が行えるよう、事故発生を想定した職員の対応シミュレーションや消防職員から、心肺蘇生や誤飲対応に関する実践研修や警察職員と不審者対応訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	・クラスだよりを通して、安全な歩行についてや雪道の歩行など、センターでの取り組みを伝え、子どもたちの安全について、家庭に周知、啓蒙を図っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・ヒヤリハット事案が発生した際は報告書を速やかに作成した上で、全職員で内容の共有して再発防止策や対応策について意見交換を行っている。 ・ヒヤリハット事案が起こった後に現場の状況を検証して、改善点について職員間で話し合い、翌日以降の療育に反映させている。内容についても必ず全職員で共有している。 ・再発防止に向けて、状況を再現しながら職員みんなで職員配置や環境面での対策を考えている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・職場内研修において、虐待防止に関する研修を受けた職員による伝達研修を実施し、全職員に周知を図っている。 ・年に2回人権意識セルフチェックを実施し職員が自身の対応について振り返り、チェック表の結果に基づいて意見交換を行い、適切な関わりへの意識向上を図っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	・身体拘束に関する説明は、契約時に保護者に周知している。現在、個別支援計画に身体拘束に関する記載の該当者はない。	